



平成 30 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 ABホテル株式会社
代表者名 代表取締役社長 杓名 一樹
(コード：6565 東証 J A S D A Q ・ 名証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長兼経理部長 山下 裕輔
(T E L . 0566-79-3013)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期を初年度とする 3 ヶ年中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 3 ヶ年中期経営計画（平成 31 年 3 月期～平成 33 年 3 月期）の概要

当社は、「健康になるホテルをつくり世のため人のために尽くす」を経営理念とし、「A m e n i t y B r i g h t」（快適に心地よく、明るく輝く）をコンセプトにお客様がひと時でも心休まる快適な空間、サービスのご提供を追及する施設サービス業として、右肩上がりに成長し続ける企業を目指しております。

当社が展開する「ABホテル」は、平成 30 年 3 月期末で 18 店舗（2,342 室）ですが、今後も出店を加速させ、最終年度末には 34 店舗（平成 30 年 3 月期比+16 店舗）を目標とします。最終年度の平成 33 年 3 月期には売上高 78 億円（平成 30 年 3 月期比+76.5%）、経常利益 19.6 億円（同期比+71.0%）、経常利益率 25%以上を目指し、ROEは現在の水準（平成 30 年 3 月期 18%）を維持し 18%以上を目標とします。

< 3 ヶ年中期経営計画のポイント >

◆継続した成長戦略を描く。

- ・「ABホテル」の出店を継続的に行う。
- ・130 室モデルを軸に展開する。
- ・年間出店目標を 5 店舗以上とする。
- ・駅前や主要インターチェンジ付近を中心にエリアを絞らず全国に展開する。

◆最終年度（平成 33 年 3 月期）の主要経営指標目標

売上高	78 億円	（平成 30 年 3 月期比+76.5%）
経常利益	19.6 億円	（平成 30 年 3 月期比+71.0%）
経常利益率	25.0%以上	
ROE	18.0%	

◆自己資本比率目標：35%以上

◆配当金については、利益に応じ株主還元を実施してまいります。

<市場背景と当社戦略>

当社を取り巻くホテル業界においては、「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」において2020年の東京オリンピックに向けて海外旅行者(インバウンド)を4,000万人に2030年には6,000万人に増加させるという政府の目標もあり、宿泊特化型のビジネスホテルのみでなく、シティホテルなど業界としては新規出店が続いております。

当社は、「ビジネスホテルより快適に、シティホテルよりリーズナブルに」をキーワードに忙しいビジネスシーンやアクティブな観光を快適にサポートする「A Bホテル」を全国に展開しております。初期投資を抑え、宿泊関連業務を外部委託にする等コストを削減する一方、全店舗に大浴場を設置することにより、お子様連れのご家族様や足を伸ばしてお風呂を楽しみたいお客様のニーズにも対応しております。

平成30年3月末現在「A Bホテル」は全国18店舗(2,342室)ですが、今後も全国への出店計画を展開し、平成33年3月末(3ヵ年中期計画最終年度)には34店舗(4,460室程度)を目標とし、更なる組織体制の強化を行い積極的に新規開発に取り組んでまいります。

新規出店のみならず既存店においてはリニューアル等の実施、おもてなしの心が息づく接客対応の充実を行いお客様満足度の向上に努めてまいります。

<主要経営指標計画>

	平成31年3月期	平成32年3月期	平成33年3月期
売上高(百万円)	5,400	6,640	7,800
成長率(前期比)	+22.2%	+23.0%	+17.5%
経常利益(百万円)	1,360	1,660	1,960
成長率(前期比)	+18.7%	+22.1%	+18.1%
経常利益率	25.2%	25.0%	25.1%
設備投資予定額(百万円)	4,000	3,500	3,500
新規出店計画	6店	5店	5店

以上